

## 令和5年度入学試験問題

### 教育支援専門職養成課程・教育ガバナンスコース(総合問題)

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙は4枚、草稿用紙は2枚です。
4. 各解答用紙には受験番号を記入する欄がそれぞれ1箇所あります。
5. 試験終了後、問題冊子及び草稿用紙は持ち帰ること。

I 次の英文を読んで、以下の問いに答えよ。

\*Individualism is a fundamental value in the United States. This value,<sup>(1)</sup> however, is coming under fire in an unlikely place—the public school classroom. The issue is school uniforms. Should public school students be allowed to make individual decisions about clothing, or should all students be \*required to wear a uniform? School uniforms are the better choice for three reasons.

First, wearing school uniforms would help make students' lives simpler. They would no longer have to decide ( A ) to wear every morning. Uniforms would not only save time but also would \*eliminate the stress often \*associated with this \*chore.

Second, school uniforms influence students to act responsibly in groups and as individuals. Uniforms give students the message that school is a special place for learning. In addition, uniforms create a feeling of unity among students. For example, when students do something as a group, such as attend meetings in the \*auditorium or eat lunch in the cafeteria, the fact ( B ) they all wear the same uniform would create a sense of community.

Finally, school uniforms would help make all the students feel equal.<sup>(2)</sup> People's standards of living differ greatly, and some people are \*well-off while others are not. People sometimes forget that school is a place to get an education, not to promote a "fashion show." \*Implementing \*mandatory school uniforms would make all the students look the same \*regardless of their financial status. School uniforms would promote pride and help to raise the self-esteem of students ( C ) cannot \*afford to wear stylish clothing.

\*Opponents of mandatory uniforms say that students who wear school uniforms cannot express their individuality. This point<sup>(3)</sup> has some merit on the surface. However, as stated previously, school is a place to learn, not to

\*flaunt wealth and fashion. Besides, students can express their individuality in the way they dress outside of the classroom.

In conclusion, there are many \*well-documented benefits to implementing mandatory school uniforms for students. Studies show that students learn better and act more responsibly when they wear uniforms.

Public schools should require uniforms in order to benefit both the students  
(4) and society as a whole.

※ individualism 「個人主義」, require 「要求する」,  
eliminate 「排除する」, associate 「関わる」, chore 「日々の仕事」,  
auditorium 「講堂」, well-off 「裕福な」, implement 「施行する」,  
mandatory uniform 「制服」, regardless of 「～に関わらず」,  
afford 「(否定文で)余裕がない」, opponent 「反対者」,  
flaunt 「ひけらかす」, well-documented 「文書による十分な裏づけのある」  
“The School Uniform Question,” in *Great Essays* (Houghton Mifflin Company) を一  
部改変

問 1 下線部(1)に “This value, however, is coming under fire” とあるが、これは  
どういう意味か。以下の中から最も適切なものを一つ選んで、番号で答えよ。

- ① 火事になっている、ということ。
- ② 批判的になっている、ということ。
- ③ ホットな話題になっている、ということ。
- ④ ますます重視されている、ということ。

問 2 空欄( A )～( C )に入る語は何か。以下の中から最も適切な組み合わせ  
を一つ選んで、番号で答えよ。

- ① ( A ) what ( B ) that ( C ) who
- ② ( A ) when ( B ) why ( C ) who
- ③ ( A ) which ( B ) how ( C ) whose
- ④ ( A ) how ( B ) that ( C ) that

問 3 下線部(2)に“equal”とあるが、これはどういう意味か。以下の中から最も適切なものを一つ選んで、番号で答えよ。

- ① 個性が失われてしまった、という意味。
- ② 誰もが同じように大切にされている、という意味。
- ③ 貧富の差を気にしなくてよくなった、という意味。
- ④ 他の生徒と外見上の差がなくなった、という意味。

問 4 下線部(3)に“This point”とあるが、これはどういう意味か。以下の中から最も適切なものを一つ選んで、番号で答えよ。

- ① 制服では生徒一人一人の個性が発揮できない、という指摘。
- ② 制服に反対する人もいる、という指摘。
- ③ 制服の方が様々な利点がある、という指摘。
- ④ 学校は勉強をする場所であって、服装を見せびらかすための場所ではない、という指摘。

問 5 筆者の結論である下線部(4)について、ディベートを行うこととする。ディベートとは、一定のテーマについて、賛成と反対の二つの立場に分かれて行われる討論である。あなたがもし、このディベートにおいて筆者に反対する立場のグループに入るとしたら、どのような意見を述べるか。筆者が本文中に示した3つの論点を踏まえながら、400字以上800字以内で述べよ。

II 2020年9月、ユニセフ(国連児童基金)のイノチェンティ研究所が報告書「イノチェンティ レポートカード16 子どもたちに影響する世界 先進国の子どもの幸福度を形作るものは何か」(以下、「レポートカード16」)を刊行した(日本語版は2021年2月刊行)。

「レポートカード16」は、経済協力開発機構(OECD)または欧州連合(EU)に加盟する国々における子どもの幸福度を分析したものである。図表1は、子どもの幸福度を分析するための枠組みを整理したものである。「レポートカード16」では、図表1で示されている精神的幸福度、身体的健康、スキルの3つの分野から、子どもの幸福度を分析している。また、図表1では、それぞれの分野がどのような要素によって構成されているのか(構成要素)、それぞれの構成要素が何によって具体的にはかかれているのか(指標)が整理されている。図表2から8は「レポートカード16」における子どもの幸福度の総合順位およびそれぞれの構成要素別のデータである(なお、データが不十分な国については、図表から除かれている)。

これらの図表を参照しながら、以下の問いに答えよ。

問1 図表2から8を見ると、オランダのように、ほとんどの構成要素が中位以上で総合順位が上位の国もあれば、チリのように、ほとんどの構成要素において順位が低くかつ総合順位も下位の国もあるなど、国によって様々な特徴が見られる。では、日本にはどのような特徴があるか。図表2から8における日本の順位の違いに着目しながら、また図表1も参照しながら、日本の特徴について100字以内で述べよ。

問2 日本における子どもの幸福度を向上させるためには、順位が低くなっている構成要素の改善を図る必要があると考えられる。あなたは、どの構成要素をどのような方法で改善したらよいと考えるか。順位が低くなっている構成要素から一つ選んで、順位が低くなっている背景、また改善を図る方法について、600字以上800字以内で論ぜよ。

図表1 子どもの幸福度の分析指標

分野	構成要素	指標
精神的幸福度	生活満足度	生活満足度の高い15歳の子どもの割合(2018年)
	若者の自殺	15～19歳の若者の自殺率(10万人あたりの自殺者数, 2013年～2015年の3年間の平均)
身体的健康	子どもの死亡率	5～14歳の子どもの死亡率(1,000人あたりの死亡数, 2018年)
	過体重	過体重または肥満である5～19歳の子どもと若者の割合(2016年)
スキル	学力	PISAテストの読解力・数学分野で基礎的習熟度に達している15歳の生徒の割合(2018年)
	社会的スキル	「すぐに友達ができる」と答えた15歳の生徒の割合(2018年)

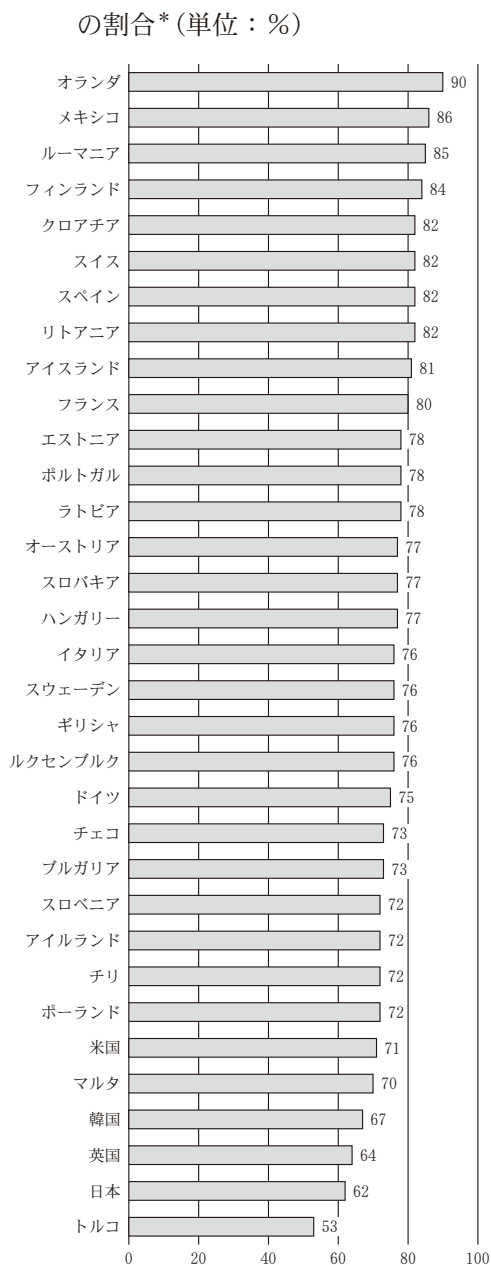
出典：「レポートカード16」(日本語版)

図表2 子どもの幸福度の総合順位表

総合順位	国
1	オランダ
2	デンマーク
3	ノルウェー
4	スイス
5	フィンランド
6	スペイン
7	フランス
8	ベルギー
9	スロベニア
10	スウェーデン
11	クロアチア
12	アイルランド
13	ルクセンブルク
14	ドイツ
15	ハンガリー
16	オーストリア
17	ポルトガル
18	キプロス
19	イタリア
20	日本
21	韓国
22	チェコ
23	エストニア
24	アイスランド
25	ルーマニア
26	スロバキア
27	英国
28	ラトビア
29	ギリシャ
30	カナダ
31	ポーランド
32	オーストラリア
33	リトアニア
34	マルタ
35	ニュージーランド
36	米国
37	ブルガリア
38	チリ

出典：「レポートカード16」(日本語版)

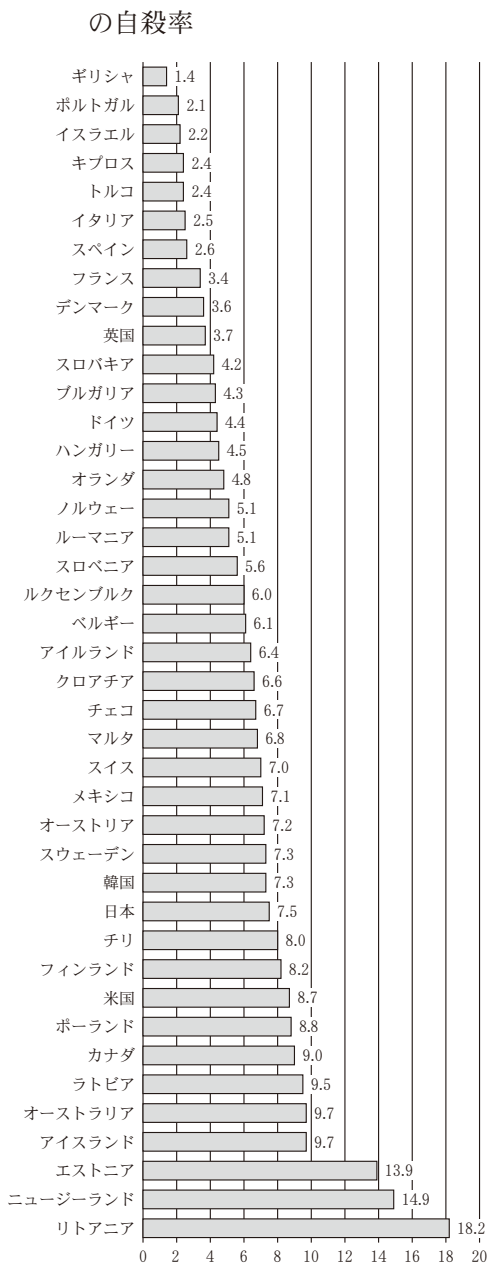
図表3 生活満足度が高い15歳の子ども



注：\* 0 (考え得る最低の生活)から10(考え得る最高の生活)の10段階で自身の生活の満足度を評価してもらい、6以上を選んだ15歳の子どもの割合。

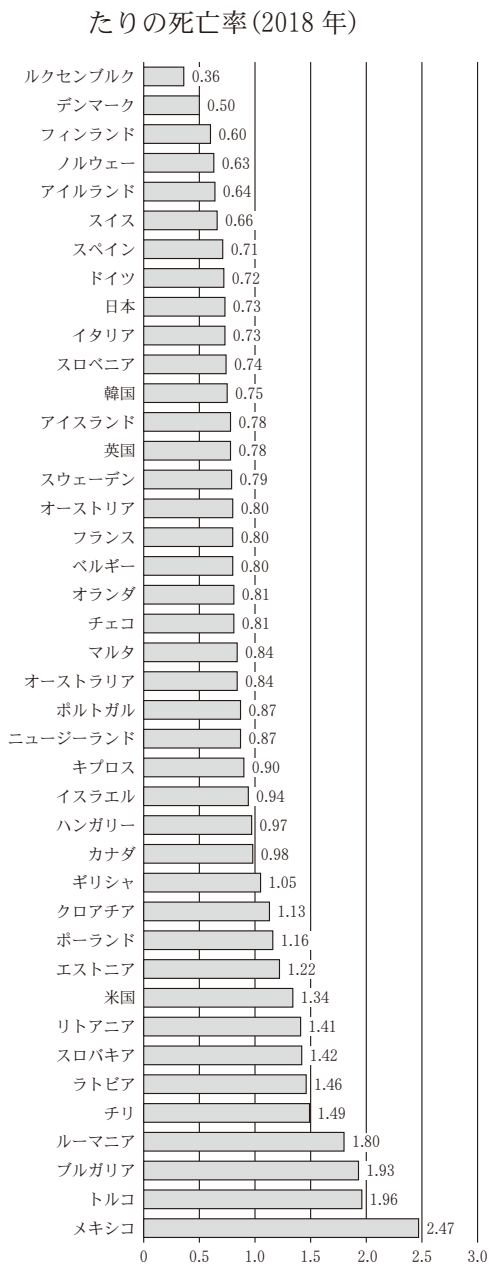
出典：「レポートカード16」(日本語版)

図表4 15～19歳の若者10万人当たり



出典：「レポートカード16」(日本語版)

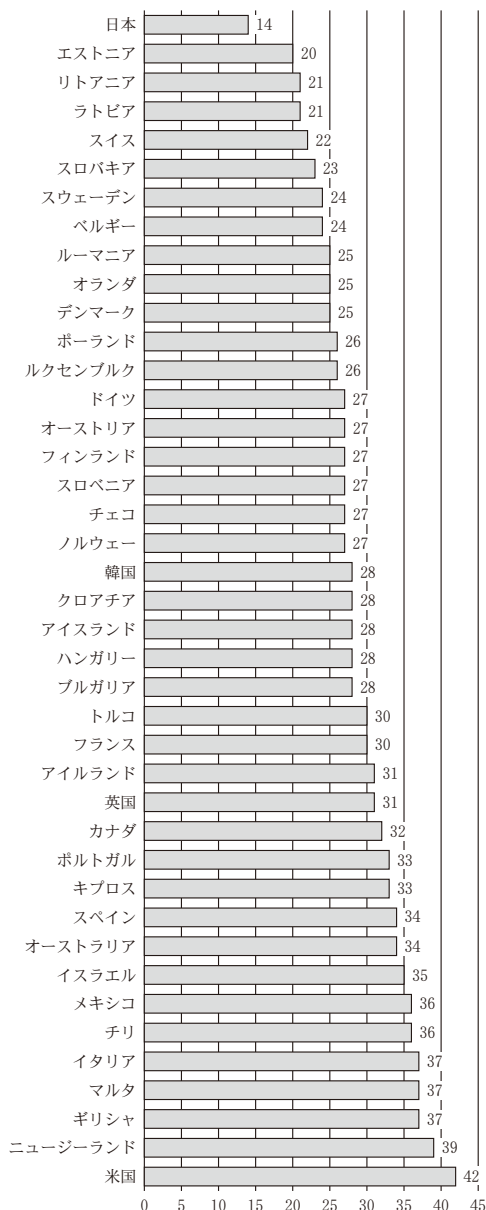
図表5 5～14歳の子ども1,000人当



出典：「レポートカード16」(日本語版)

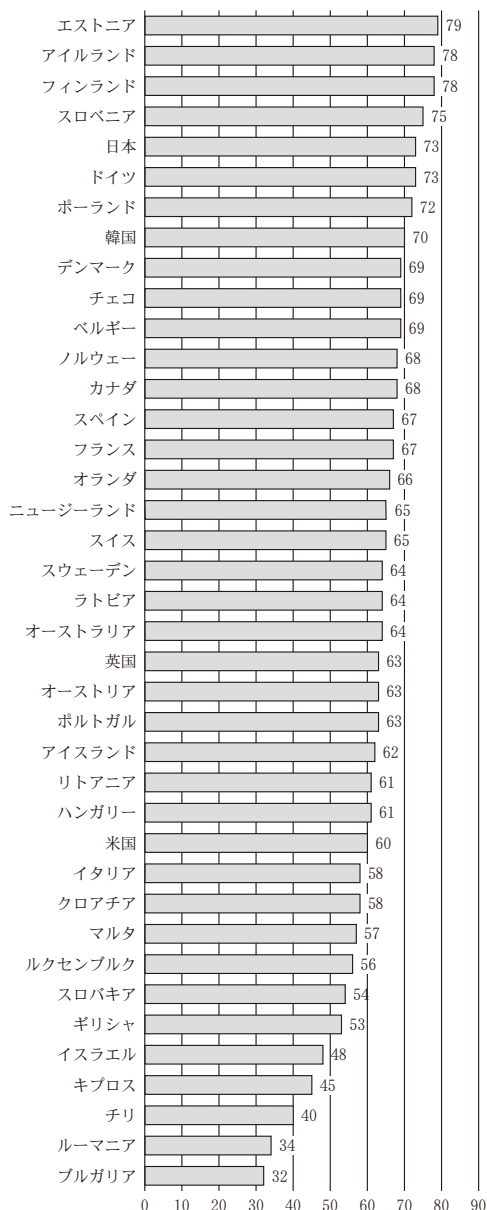


図表6 過体重または肥満である5～19歳の子どもと若者の割合(2016年)(単位：%)



出典：「レポートカード16」(日本語版)

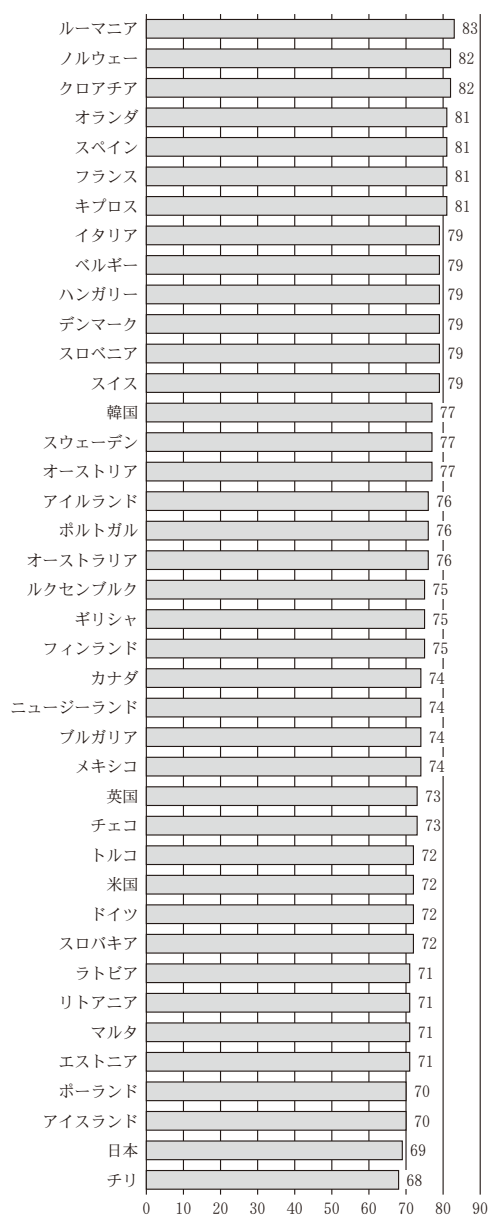
図表7 読解力および数学的リテラシーが基礎的習熟レベルに達している15歳の子どもの割合(単位：%)



出典：「レポートカード16」(日本語版)

図表8 すぐに友達ができると答えた

15歳の子どもの割合\*(単位：%)



注：\*「学校ですぐに友達ができる」という設問に「その通りだ」または「まったくその通りだ」を選んだ15歳の子どもの割合。

出典：「レポートカード16」(日本語版)